

# ■日漢協トピックス



## 「国民の健康と医療を担う漢方の将来ビジョン研究会2022」開催

2023年2月20日(月)18時より、KKRホテル東京(瑞宝)において「国民の健康と医療を担う漢方の将来ビジョン研究会2022」が開催された。今回は、主に会場参加での開催となった。

代表世話人の鳥羽 研二先生をはじめ、世話人3名、委員7名の研究会関係の先生方と演者5名(忽那 賢志先生はオンライン)、および厚労省等のオブザーバー、共催の日本東洋医学会、会員会社等からオンラインも含め172名、さらに報道関係者8名を加え、合計195名が参加した。



総合司会  
【鳥羽 研二 先生】

### ■基調講演

総合司会の鳥羽先生による開会のご挨拶の後、大阪大学大学院医学系研究科 感染制御医学講座 教授の忽那 賢志先生より「『COVID-19』の現状について」と題し、ご講演いただいた。

忽那先生からは、今も感染が続く新型コロナウイルス感染症に関して、変異株やゲノム解析等、感染の現況についてお話があった。

また、同感染症が本年5月より5類の扱いとなった場合のメリットとデメリットをわかりやすく解説いただいた。



【忽那 賢志 先生】

## ■ 講演

国立医薬品食品衛生研究所 所長の合田 幸広先生を座長に、3名の先生方に「提言進捗」という位置づけでご講演をいただいた。各先生方の講演内容の概要は、以下の通りである。



座長  
【合田 幸広 先生】

- 「『COVID-19 漢方治療レビュー』急性期・遷延症状におけるエビデンス」  
(東北大学病院 総合地域医療教育支援部・漢方内科 特命教授 高山 真 先生)

高山先生からは、COVID-19に関する日本東洋医学会主導の臨床研究について漢方薬治療による症状緩和、重症化抑制に関する多施設共同による後ろ向き観察研究、後遺症の治療や柴葛解肌湯の多施設共同ランダム化比較試験における研究成果等が紹介され、更なるエビデンスの構築に向け研究費の支援等の必要性を訴えた。



【高山 真 先生】

- 「エフェドリンアルカロイド除去麻黄エキス(EFE)の開発状況について」  
(北里大学 東洋医学総合研究所 客員研究員 小田口 浩 先生)

小田口先生から、血圧上昇等副作用を引き起こすエフェドリンアルカロイドを除去した新規生薬エキス製剤であるEFE製剤の開発状況について解説があった。

EFE製剤は、健康成人を対象とした安全性試験において、有害事象全般の発生頻度を低く抑えることがわかった。現在、医師主導の治験を実施中であり、今後製剤化に向け期待される反面、課題とその対策が示された。



【小田口 浩 先生】

➤ 「日本の天然物医薬品の品質と規制科学研究について」  
(国立医薬品食品衛生研究所 生薬部長 伊藤 美千穂 先生)

伊藤先生は、日本における天然物医薬品の品質管理は、その特殊性を踏まえた上で高い均質性が確保されており、その上、総合的な品質管理は、2021年に発出の剤形変更に関する基本的な考え方につながり、現在は、処方変更に関しても同様な動きがあると述べた。

今後も、天然物医薬品の新しい方向性を牽引していくために、各方面の協力をお願いしたいと要望した。



【伊藤 美千穂 先生】

■ 特別講演

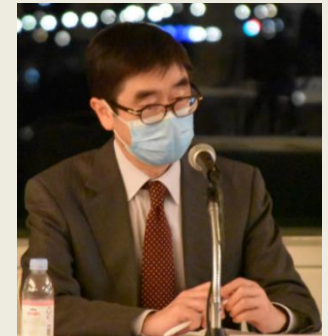
東京大学大学院医学系研究科 老年病学 教授の秋下 雅弘先生を座長に、「ポストコロナ時代における漢方薬の役割」と題し、順天堂大学大学院医学系研究科 泌尿器外科学 教授の堀江 重郎 先生より特別講演をいただいた。

堀江先生からは、漢方薬がフレイルやサルコペニア等の老年症候群および長寿遺伝子であるサーチュイン1、さらには寿命に関連する染色体部位であるテロメアや認知症患者の認知機能に及ぼす好影響について、科学的根拠に基づき解説をいただいた。

堀江先生は、六君子湯をはじめ、各症状に適した漢方薬を使用することで様々な高齢者の愁訴に対応でき、ポストコロナ時代における高齢者の自立を保つことが出来ると結論付けた。



【堀江 重郎 先生】



座長  
【秋下 雅弘 先生】

## ■ ディスカッション

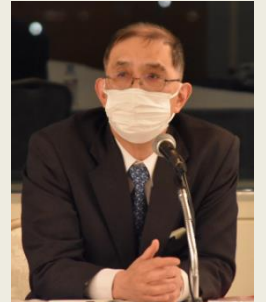
講演終了後、代表世話人の鳥羽先生、世話人の合田先生を司会として、ディスカッションが行われた。日本医師会会長の松本 吉郎先生より、「漢方は、安心安全な医療を提供するためにも適正価格で医療保険制度の中で処方されるべきである。また、原料生薬については、安定供給のために国が支援していくべきである。さらに、フレイル等の高齢者疾患に対する研究を進めていただきたい」等のご発言をいただいた。

また、日薬連会長の眞鍋 淳先生から、「漢方製剤等は国民の健康維持・向上に寄与している。今後、剤形の開発や新たな漢方薬の開発が実現すれば、今まで以上に漢方製剤等が国民の健康に寄与できる」等のお言葉をいただくなど、ご参加の先生方の間で活発な意見交換・質疑応答が行われた。

最後に、日本東洋医学会会長の伊藤 隆先生よりご挨拶があり、研究会は閉会した。



【鳥羽 研二 先生】



【合田 幸広 先生】



【伊藤 隆 先生】

## ■ 記者会見

研究会終了後、20時過ぎより報道関係者を対象に記者会見が行われた。会見には鳥羽先生をはじめ、世話人と委員の伊藤 隆先生および会場でご講演をされた4名の先生方にもご参加いただいた。記者の方々からは、各講演の内容について、様々な質問が挙がった。

